

みなみあいづ

議会だより

平成24年7月25日発行

第25号

6月定例会

特集	議会中継インターネット配信開始	2
議案審議	補正予算全会一致で可決	5
一般質問	14議員が町政を問う	6
議会報告会	3会場で開催	20
臨時議会	統合学校名を南会津中学校に決定	21

「迫力の放水」

福島県消防操法南会津地方大会
田島支団第1分団第2部

議会ライブ中継 録画映像 をインターネット配信



スタート

01_ 住民に開かれた議会を目指して

議会は、住民の皆さんの代表者で構成された、町の意思を決定する機関です。その役割は、

① 町の仕事に適正・公平に行なわれているかを監視すること

② 決まりごとや予算の使いみちを決定すること

であり、さらに上記2つに加え、

③ そこに至った経緯や決定した内容を皆さんにわかりやすくお伝えすることも、とても大切な仕事の一つです。

これまで本町議会では、①議会広報紙の発行、②議会報告会の開催、そして、③各総合支所等への議会ライブ中継を大きな柱として広報活動に努めてきました。しかし、いずれの広報手段にも課題があり、どんな手段をとってもそれで十分ということはありません。

今回スタートするインターネットによる議会中継と録画映像の配信は、議会と皆さんの家庭をつなぐ新たな試みであり、「皆さんにより開かれた議会」を実現するための4つめの方法です。インターネットを通し、議会のようすをどうぞご覧ください。

02_ インターネット配信のメリットと期待できる効果

メリット

議会

01

議案審議や採決結果に至るまでの過程を、皆さんに知らせることができます。

02

皆さんの目に触れることで、議員一人ひとりの資質向上につながります。

住民

01

自宅や外出先でも議会の模様を視聴することができます。

02

ライブ中継と録画映像を配信することで、24時間視聴が可能のため、いつでも議会の審議状況や議案の議決結果を確認することができます。

期待できる効果

議会と住民の皆さんが情報を共有することで、“住民の声”を反映した政策提案ができます。

※写真はイメージです。

みなみあい
議会だより

第25号 平成24年7月25日発行

2

茶の間が議場に

03_USTREAM（ユーストリーム）を活用して配信

議会ライブ中継・録画映像を USTREAM を活用してインターネット配信します。USTREAM はインターネット配信の経費を抑えられるため、近年、多くの市町村議会や国会事故調査委員会でも USTREAM を活用して会議の様態を配信しています。

04_用語 USTREAM（ユーストリーム）とは

2007年3月に米国で設立された無料動画共有サービスです。

パソコンやスマートフォンなどを使用して、誰でも、いつでも、動画配信や視聴することができます。

05_インターネット配信の流れ



※議会ライブ中継・録画映像を視聴する場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。

06_簡単に視聴できます



本町議会のホームページからライブ中継と録画映像を視聴することができます。

ステップ
1

本町議会ホームページに接続 ウェブサイトアドレス <http://town.minamiaizu.org/gikai/>

ステップ
2

トップページの“議会中継”
ボタンをクリック



クリック!

ステップ
3

視 聴

ライブ
中
継

定例会や臨時会の模様を実況中継します。

視聴方法

実況中継時に画面に映像が自動的に配信されます。

録画
映
像

過去の定例会や臨時会を視聴することができます。

視聴方法

録画放送の“[USTREAM 議会中継サイト](#)”をクリックしてください。USTREAMのウェブサイトから会議を選択して視聴することができます。

※録画映像は、議会閉会后おおむね2週間後に配信します。



録画映像を視聴
する際はこちら
をクリック!

USTREAMのウェブサイトから視聴することもできます。サイト内検索ツールで“南会津町議会”を入力して検索。 ウェブサイトアドレス <http://www.ustream.tv/>

07_参考 インターネットの普及率は?

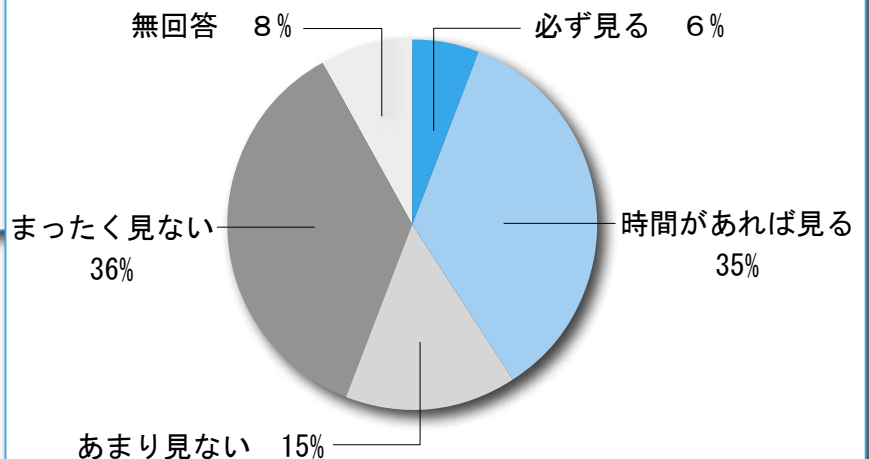
町内各家庭のインターネット普及率



お問い合わせは議会事務局まで
電話
0241-62-6310

08_参考 インターネット配信視聴調べ

Q. 議会の模様をインターネットで録画配信した場合ご覧になりますか



(議会報告会アンケート調査結果)

6月定例会議案審議

平成24年第2回定例会を6月15日から22日までの8日間の会期で開催しました。町からは条例改正の議案3件、補正予算4件、その他の議案や報告など7件、議会からは人事案件1件、意見書提出の議案2件が提出され、審議の結果すべて可決・同意しました。

一般会計補正予算を全会一致で可決

一般会計予算を13億5,659万円追加補正する議案が町から提出され、慎重審議の結果、全会一致で可決しました。追加予算の主な使いみちは、県南・会津・南会津地域給付金事業の給付金や防災拠点整備として公共施設に太陽光発電設備を設置する工事などに使われます。

地域給付金 町独自の取り組みは

星登志一議員

県南・会津・南会津地域給付金は、平成23年3月11日時点で本町の住民基本台帳に記録されている学生でも、生活の本拠としていない場合は給付対象外となります。

町長

地域給付金事業は、東京電力福島第一原子力発電所事故の損害賠償の対象外となった地域へ、県が給付金を給付する事業です。

本町では、県の実施要領に基づき給付するため、町独自の対応は現在考えていません。

事業債の内容と使いみちは

星登志一議員

自治振興費の新たな事業債の内容とその使いみちは、

の措置が80%と過疎債より10%高く、本町にとって有利な地方債です。

総務課長

新たな事業債は、緊急防災・減災事業の地方債です。地方交付税

の措置が80%と過疎債より10%高く、本町にとって有利な地方債です。使いみちは、防災拠点施設や防災時非常用電源などを整備するためのものです。

町営住宅家賃算定誤りの処分決定理由は

渡部優議員

町営住宅家賃算定誤りで戒告処分を受けた町職員が、県人事委員会の裁決に基づき不利益処分の復元がされました。

総務課長

不利益処分の復元により、町職員へ勤勉手当等を平成24年3月31日に支給しました。

町長

戒告処分の取り消しは、県人事委員会の裁定の結果を重んじ判断しました。

また、戒告処分を取り消し、改めて嚴重注意の勧告をしました。が、処分決定の理由は、

嚴重注意とした理由は、不適切な事務処理以外にも県からの情報提供の方法に問題がある可能性が否定できないためです。



太陽光発電を導入する御蔵入交流館



町営住宅会下団地



渓魚出荷停止の早期解除を

町長＝出荷制限の早期解除に向け、できる限りの支援をする



問

南会西部漁協
所管の館岩地

域の鱒沢で採捕されたイワナから、国の定めた放射能基準値を超えたセシウムが検出されました。

保城川、下流部支流の西根川および湯ノ岐川のイワナが出荷停止になった理由は。

町長

魚類は、1kgあたり

100ベクレルを超える放射性物質が検出された場合、水系を分けるダム・堰等で出荷制限・採捕の自粛要請がされます。このため、館岩全域の川が出荷制限の対象になりました。町も出荷制限の早期解除に向け、できる限りの支援をしていきます。

特別養護老人ホームの新設は

町長＝郡山市の医療機器製造販売会社と協議中

問

入所待機者の解消に向け、

50床の増床は町民が長年待ち望んでいるところですが。

平成25年10月開所予定の特別養護老人ホームの進捗はよく度は。

町長

特養開所計画は、郡山市の医療機器製造販売会社が設置する予定で協議を進めています。社会福祉法人の認可は1年半から2年程度の期間が必要で、さらに補助金の決定が平成25年4月以降なので、10月の開所は厳しく、半年程度の開所延期と考えています。現在の計画では、特養として50床、ショートステイで20床、またデイサービスで30名を予定しています。

「さいたま少年自然の家」への橋梁架け替えは

町長＝さいたま市とも協議し、新たな橋梁整備を検討

問

町道向山線の小白沢橋は、

非常に狭く、危険な橋梁です。また、昨年の豪雨災害時に侵食されたのか、土台部分が危険な状態でした。

今回の改修は応急的な改修ですか、それとも恒久的に使用できる

町長

「さいたま少年自然の家」を

利用する大型バス等の通行が多く、本格的な修繕を実施しました。「さいたま少年自然の家」は本町にとって大変重要な施設であ

り、今後、さいたま市と協議し、新たな橋梁整備を検討し安全性を確保していきます。



田島高校実習地の活用を

町長＝県の動向を見極め対処していく

問

昭和8年11月
16日 田島実業

公民学校の県移管につき寄付の件を旧田島町議会で議決し、その中で、「耕地40町歩・山林300町歩は地区財産を町有地として統一のうえ、寄付すること、ただし、将来廃校もしくは他移転等の場合は無償にて地元払い下げること」となっています。

現在、田島高校は普通科のみで、広大な面積を適正管理できるとは考えられません。

県の計画をどのように把握し、町はどのような対応を考えていますか。

町長

現在の田島
高校実習地

の利用状況は、農地約40ヘクタールは、環境科学コースの授業と、県農業公社を通して個人へ貸し付け利用され

ています。

山林は、平成15年3月31日に林業科がなくなつて以来、利用されていません。

田島高校として、遊休となつている実習地の今後の利用計画はないとのこと。

町では、県の動向を見極め対処していきま

再生エネルギー計画書の作成を

町長＝積極的な計画策定を

問

本町のエネルギー政策は平成15年9月8日にエネルギー策定委員会がスタートしてから、16年・20年・22年3回の報告書が出ているが計画書が出ていません。

本町の福祉や雇用政策を考えたとき、絶好の時期が到来したと思えますが、町は政策として再生エネルギーをどうとらえますか。

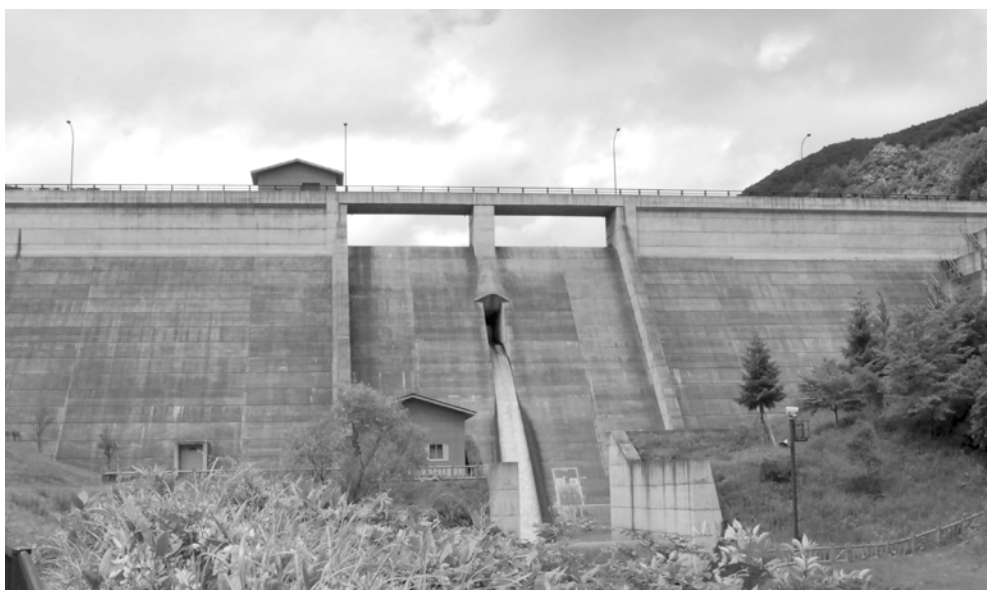
町長

自然エネルギー
ギーは、地

球温暖化防止や震災からの復興対策の面から、今後一層、その重要性が高まるとともに、本町の重要な政策の一つととらえています。

本町の自然エネルギー施策は、総合振興

計画にも重要施策と位置づけており、計画の策定を積極的に検討していきます。



小水力発電の導入可能性を調査している田島ダム



林業従事者の雇用確保を

町長＝若年の就労機会確保と雇用安定のために森林組合へ支援をしていく

問

町内の3森林組合が林業従事者の就労の場として、その可能性に大きな期待をするものです。

ある豪雪地帯の森林組合では、チップ加工・丸太加工など林産材のリサイクル事業に取り組み、冬季節就労の場を確保し、さらに行政機関とのタイアップにより月給制の若手森林現場職員の育成計画に取り組み雇用体制の着実な歩みを進めているそうです。

その実現には、通年雇用による一定の労働条件確保が不可欠と考えます。

こうした具体的な雇用対策は。

町長

本町の豊富な森林資源を活用した雇用対策の推進は、地域の就労機会の拡大につながる重

要な施策であると考えられています。

若者が魅力ある職業として林業に従事できる環境づくりのため、「通年雇用制度」の確立、就労意欲向上のための賃金待遇の改善な

ど、若年層が林業を生涯としてできるよう、若年者の就労機会の確保と雇用の安定のために森林組合への具体的な支援をしていきます。

若年者の就労機会の確保と雇用の安定のために森林組合への具体的な支援をしていきます。



就労機会の拡大が望まれる林業

第3子以降の保育料無料化を

町長＝総合的に検討していく

問

保護者の経済的負担の軽減

と安心して子どもを産み育てる環境を拡大し、少子化に歯止めをかけるため、第3子保育料無料化を第3子以降の児童に拡大できませんか。

町長

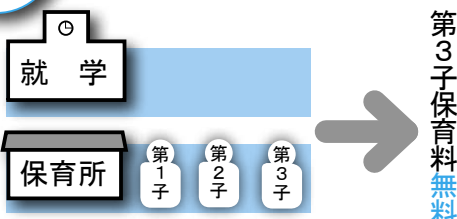
町では、同一世帯から2人以上の児童が入所する場合、2人目の児童の保育料を基準額の半額とし、3人目以降の児童にかかる保育料は無料としています。自治体の多くは、本町と同様な取り扱いをしています。

当面は、現行の体制としますが、今後、子育てにかかる経済的負担の軽減について、財政面等を含め、総合的に検討していきます。

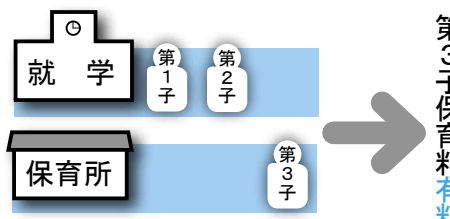
に検討していきます。

現行の制度

事例1 第1～3子が保育所へ同時期に入所



事例2 第1・2子が就学後、第3子のみ保育所へ入所





森林組合の統合に向け協議会設立を

町長＝合併協議会を支援

問

林業の循環サイクルを確立し、持続可能な産業にするためには、森林組合の統合が必要と考えます。統合に向け、協議会を設立しては。

町長

森林組合の合併は避けて通れないものと認識しています。昨年度、郡内5つの組合では、合併に向けた勉強会を実施しました。今後、南会津地方森林組合協議会で検討会を組織し、合併協議会の立ち上げを予定していますので、町でも支援していきます。

移動教室の活用を

教育長＝積極的に誘致を行なう

問

放射線量の高い地域に生活する子どもたちを支援するため、県教委が実施する「移動教室体験活動応援事業」を積極的に活用しては。

教育長

線量の低い本町に滞在することは、子どもの健康に効果があることから、本町から異動された先生方や教育委員会を通して本町での移動教室の開催や体験活動の誘致を働きかけていきます。

用語

フェイスブック

インターネット上の名簿に、個人の顔写真と実名を登録し、コミュニケーションや情報を共有することができるサービス



南会津の自然にふれあう子どもたち

情報発信で風評被害払拭を

町長＝町ホームページリニューアルで情報発信

問

風評被害払拭には、本町の現実を一人でも多くの町民が発信することが重要と考えます。

町民、町職員のフェイスブックなどでの発信を推奨しては。

町長

今年度町ホームページを刷新し情報発信を促進するとともに、同時に公式フェイスブックページも作成し、利用開始します。これにより、その利便性が評価されれば町民の参加も期待できます。私や町職員が職務としての参加には課題があり、引き続き検討します。



イワナ放射性物質検出の対策は

町長＝十分な調査で風評被害払拭を

問

館岩地域鱒沢川のイワナから食品衛生法の基準値を超えるセシウムが検出されましたが、対策は。

町長

釣り客の宿泊予約キャンセルが相次ぐ状況にあり、地域経済への影響は非常に大きいと考えます。

まずは十分な検査を継続的に実施し、鱒沢川以外の河川の出荷制限を解除できるよう努めます。

また、風評被害対策は状況が常に変化することが予想されますので、関係者の意見を取り入れた誘客対策を講じていきます。

問

昨年の9月定例会で指摘した放射線量の高かった荒海山周辺の調査は。

町長

当該地域周辺は平地部と比較し、空間線量が高いと認識していますが、人里離れた山林地域であることから、調査に困難を伴います。

町内全体的な視点から当該地域の調査は重要であり、重点的に放射線量とセシウム測定を進めます。

スキー場のシーズンオフ利用活性を

町長＝地域の特性を生かした活用策を支援

問

町内スキー場のオフシーズンの誘客対策は。

町長

下表のように、地域の特徴や特性を生かした独自の取り組みが展開されていますので、今後関係機関と連携し、オフシーズンの活用を支援していきます。

スキー場オフシーズンの取り組み状況

スキー場名	取り組み状況
高畑スキー場	わらび園・きのこ園
南郷スキー場	ヒメサユリをゲレンデに植栽
たかつえスキー場	野外活動や体験の場を整備

家賃算定問題、懲罰委員の責任は

町長＝責任は追及しない

問

町営住宅の家賃算定誤りで戒告処分を受けた4人の町職員が、福島県人事委員会に対し不服申し立てを行ない、今年3月に処分が撤回されました。懲罰委員会等の責任は。

町長

算定を誤っていたことにより町民の信頼を失い、町政執行に与えた影響は大きいと考えます。処分は当時の判断材料を総合的に判断した結果で、懲罰委員に対し責任を追及する考えはありません。



オフシーズンを活用してマウンテンバイクリゾートをオープン(たかつえスキー場)



町立荒海中学校用地問題解決を

町長＝引き続き交渉を継続

問

昭和50年の売買契約後、今年で37年経過する荒海中学校用地問題は本町の大きな負の遺産となっています。

現在の状況と今後

町長

継続的に話し合いを行なっていますが、売買契約した用地以外の用地使用に対する考え方が相違し、進展していません。当該者との信頼関係を崩さないよう、今後も継続して交渉していきます。

町内各種団体の活動を町の活性化に

町長＝自由に意見交換できる場を創出

問

町内には、町の活性化やPRに大きく貢献している団体があります。それら団体を把握し、生かすことでさらなる効果が生まれると考えます。町内任意団体の活動の情報収集と、活用の現状は。

町長

さまざまな団体がそれぞれの分野で主体的な活動を展開していることは承知していますが、十分な把握ができていないと言いたいがたい現状です。

今後、複雑多様化している地域課題を解決するためには、各種団体と行政が協働で取り組むことが重要であり、自由に意見を交換するなど、出会いと協



住民と行政が協働で地域課題を解決

「脱原発」に向けた具体的な計画と方針は

町長＝原子力発電に頼らない自然エネルギーを導入

問

第2次総合振興計画に「脱原発を推進する」と明示されていますが、具体的な計画は。

町長

脱原発と自然再生エネルギーの普及促進は一体であると考えています。原子力発電に頼らない自然再生エネルギーの導入を行ない、脱原発を推進していきます。



特養施設の建設予定地は

町長＝田島折橋地区内に予定

問

特別養護老人ホームの増床計画が進められているようですが、設置場所

町長

田島字北下原地内を予定しています。

問

建設用地は、町有地の活用か。または、民有地の買収ですか。

町長

旧田島町が雇用促進住宅建設予定地として取得した町有地を計画変更し、活用します。

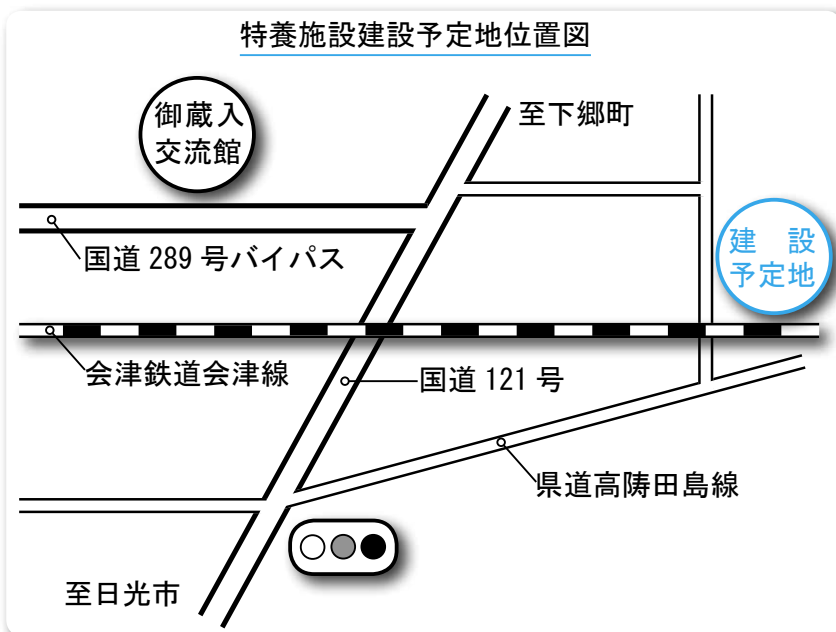
問

事業者を広く公募する考えは。

町長

特別養護老人ホームの待機者が多いため、施設の早期整備を考えていましたが、郡山市の

特養施設建設予定地位置図



医療機器製造販売会社より施設整備の概要計画書の提出があり、協議を進めています。現在、事業者は、事業収支予算計画・建築資金計画および職員採用計画等の作成を行なつて

おり、計画書を審査し、整備予定事業者と協定を締結する予定です。なお、計画書の内容等により設置困難と判断された場合には、公募による方法も検討します。

移転後の伊南小学校の跡地利用は

町長＝「跡地利用検討委員会」で検討

問

伊南小学校は平成25年4月1日に、現在の伊南中学校に移転しますが、その後の伊南小学校跡地利用は。

町長

地域住民の意見を反映させるため、地域住民や有識者を交えた「小学校跡地利用検討委員会」（仮称）を年内につくり、その中で検討していく予定です。

問

老朽化の激しい伊南保育所の新築予定地として活用しては。

町長

「跡地利用検討委員会」に提案し、伊南保育所も含めた具体的な活用方策について意



ヤングスクールに大きな期待

教育長＝62名の参加で開講式を実施



にぎやかな雰囲気が最高「ヤングスクール」

問

職場を越えた若い世代の交流・成長の場となる「ヤングスクール」開講に大きな期待をしていますが、参加人数と活動内容は。

教育長

6月15日現在、男性36名・女性26名の62名で

す。6月5日には開講式と第1回学習会（料理教室）を行ない、17日には駒止湿原と高清水自然公園の自然散策をしました。来年3月まで月1回から2回のペースで、スポーツやレクリエーション、そしてボランティア活動などを実施します。

御蔵入交流館 伊南保健センターの発電規模は

町長＝蓄電設備を備え30キロワット程度

問

御蔵入交流館、伊南保健センターに太陽光発電設備設置を予定していますか、発電の規模と売電の予定は。

町長

それぞれ30キロワット程度の太陽光発電システムと10キロワット程度の蓄電設備の導入を予定しています。売電は具体的な実施設計の中で検討します。

問

冬季の雪対策は。

町長

積雪寒冷地に対応した機器を導入します。なお、本事業は災害時の対応を目的にしており蓄電池の導入が必須条件で、発電ができない状態でも、夜間電力を利用した蓄電システムの構築など、災害時の対応が可能となる設備とします。

「自然エネルギー協議会」の設立を

町長＝組織体制の創設等に発展を期待

問

町民の自然エネルギーへの関心は高まっており、「南会津自然エネルギー推進協議会」（仮称）の設立の考えは。

町長

エネルギー施策に関わる方々や、住民サイド、有識者等の皆さんの協力をいただきシンポジウムの開催を予定しています。この結果によっては継続的な開催や、中長期的な組織体制の創設等に発展することを期待しています。

町長

関係予算の議決後、速やかに設計業務、本体内工事を実施し、年度内の導入を目指します。

問

建設スケジュールおよび開始時期は。

その他の質問

・びわのかげ保育所の太陽光発電で余った電気の活用を



会津縦貫南道路5工区の進ちよく状況は

町長＝「調査区間」から「整備区間」に格上げ要望することが決定

問

期成同盟会等で各種要望活動をしていきますが、本町が関わる5工区はランク格上げになりましたか。

町長

5月の期成同盟会総会で、下郷町から本町までの約9キロ区間が、調査区間から整備区間へ格上げの要望が決定しました。

6月7日には、5工区が調査区間から整備区間になるよう、早期格上げを関係機関に要望してきました。

今後は、地域住民の機運を高めつつ、地域が一体となった要望活動が重要と考えます。

茎枯れ病の支援事業継続を

町長＝効果ある対策に支援継続する

問

茎枯れ病の影響でアスパラガスの収穫量が減少し、収入減となる農家の方が、安心してアスパラ栽培ができるように継続した支援が必要と考えますが。

町長

茎枯れ病の影響で収穫量が年々減少し、産地の存続も危ぶまれる状況です。本年度は、指定薬剤を使用し、防除に協力する栽培者に対して、

栽培面積に応じて基準薬剤額の3分の2を助成します。

また、モデルほ場で効果を検証しながら、最も効果的な対策に対して継続的支援をします。

原発事故風評被害の払拭は

町長＝調査強化で正確な放射線数値を公表する

問

風評被害は昨年よりひどい傾向とJAの方に聞きました。今年度は昨年度以上の対策が必要と考えます。町の考えは。

町長

春先のアスパラガスの市場価格低迷は、福島県に特化したことで、風評被害が要因と考えます。

市場の中には、福島県の正確な情報を知らないところもあり、モニタリング調査を強化し、その測定結果を正確に、早く、広く、公表し本町の安全性をPRすることが重要と考えます。



アスパラガス最大の病害といわれる「茎枯れ病」



防犯灯適正管理のためLED変更補助を

町長＝LED式防犯灯の新設・更新も補助対象

問

町内にある防犯灯のうち、町管理の防犯灯はありますか。また、地域ごとの設置防犯灯数は。

町長

町が管理する防犯灯は下表のとおりです。

問

現在、電気料金が上昇する傾向にあり、今後、町と管理地区の消費増加が予測されます。LED電球変更に対する補助等の考えは。

町長

町は平成18年度から防犯灯設置補助金交付要綱で集落内の防犯灯新設・更新の費用の一部を助成しています。

平成22年度10月からは、LED式防犯灯の新設・更新共に補助金の交付対象としました。

町が管理する防犯灯数

地域名	個所数
田島地域	2個所 11灯
館岩地域	4個所 6灯
伊南地域	2個所 10灯
南郷地域	13個所 78灯
計	21個所 105灯



地域の安全を支える防犯灯

使用可能な空き家情報の提供で空き家対策を

町長＝適正管理・活用を含め総合的に検討する

問

本町内に空き家が目立つようになり、今にも壊れそうな家屋や十分使用可能な空き家もあります。空き家の権利者と連絡が取れず困っている方もいますが、この件数と町の対策は。

町長

空き家の増加は全国的なことですが、防犯・防災・景観・衛生等の問題があります。合併前の4町村で空き家調査をしました

が、効果的な対策には至っていません。また、壊れそうな家屋の正確な数は把握していません。

問

都市部には本町に住みたいという人も、相当数い

ると聞きます。十分利用可能な空き家は、情報を提供することで住みたい人の要求に答えることができると思いますが、対策は。

町長

本年度から総合政策課の担当事務に空き家対策の事項を加え、具体的に適正管理や利活用に向け、問題解決の課題を整理して、総合的に空き家対策を検討します。



人材育成は

町長＝研修会等参加経費と資格取得経費を一部支援

問

都会に比べ学びの場が少ない本町は、住民が志を高めるための学びの場、それぞれの職業のスキルを高めるための学びの場が必要です。創出の考えは。

町長

各種団体や地元企業が個人などが、行政と協働で地域課題を解決するための事業立ち上げを検討しています。そのため、外部講師や専門家を招き、講演会などの開催を計画します。また、町内事業者の人材育成のため、研修会などの経費の一部を支援する制度を4月から実施しています。

問

町職員育成の自治研修センター以外の機会は。

町長

県へ実務研修生として

派遣しているほか、市町村職員中央研修所や自治大学の研修で町職員の育成をしています。また、会津価値創造フォーラムにも参加しています。

問

町職員研修の年間予算額と職員1人当たりの予算は。

町長

予算額で333万円、1人当たり12、400円です。

問

みなみやま観光の人材育成の把握は。

町長

マナーやサービス向上を目的とした社内研修や各施設ごとの社内ミーティングを通し、若手を育成していると聞いています。経営評価、人材育成の取り組み

み状況と成果も検証していきます。

放射線対策は

町長Ⅱメッシュ区分し調査・公表

問

雪解け後、行政区ごとの農地土壌検査、学校、行政区の空間線量の公表は。

町長

農地土壌等の測定は町内をメッシュ区分し調査しており、集計が済み次第公表します。

問

放射能簡易測定で得た集積データの活用は。

町長

分類別に一定の集計が済み次第、迅速に公表します。集計結果は数字の羅列でなくマップ図として公表します。



継続的に行なわれている空間線量モニタリング



滞納対策は

町長＝滞納者ごとの滞納徴収対策を検討

問

町税・水道料等、滞納が多額となり、このままではまじめに納税・その他の責務を果たしている住民との不公平は増すばかりです。その解決策と今後の滞納予防策は。

町長

滞納原因の把握に努め、納税意識の確認や納税指導を徹底し、新規滞納者を増やさないよう、初期対策を強化します。

継続的な滞納者への納税指導と法的な処分を進めるとともに、複数の町税・使用料等の滞納者へは「町滞納整理対策連絡会議」を通じて、各徴収担当課が連携して滞納者ごとの徴収対策を検討します。

駅前南口・北口周辺の整備計画は

町長＝歩行者専用橋を計画

問

町の顔である会津田島駅前広場を生かすため、駅横のSLを用いて誘客に結びつけては。

町長

「会津田島駅前広場整備検討会議」で、課題や整備計画等の意見交換を行ないました。観光案内機能および、地域産品を展示販売する

地域振興機能等を持つているため、地域の拠点施設として利用していきます。
SLは、移設から20数年経過し、車体の傷みが激しいため、緊急性のある必要最低限の修復を優先させ、記念撮影の場など観光スポットとして活用していきます。

問

町の中心地である駅北側口は、住宅の移設等が行なわれたあと、整備が中断しています。今後の計画は。

町長

関係権利者との協議を進めます。

駅乗降客や地区間住民移動の利便性向上のため、東側から北側への歩行者占用橋を計画中です。
建設時期は、利活用状況や事業地内の進捗よく状況を踏まえて検討します。



昭和49年まで会津地方を駆け抜けた蒸気機関車（SL）



前沢地区の全体計画は

町長＝適切な保存と効果的な整備

問

前沢集落は町の重要な観光資源と考えますが、展望台の整備計画は。また、今後の環境整備計画は。

町長

展望台整備予定地は福島県林業公社の造林地なので、林業公社と協議し整備します。

環境整備計画は、前沢伝統的建造物群保存計画により整備を進めます。

また、観光資源として活用するための整備は、前沢地区住民、関係機関と協議し、適切な保存と効果的な整備を進めていく予定です。



環境整備が急がれる前沢伝統的建造物群保存地区

その他の質問

・観光宣伝について

橋の改修計画は

町長＝平成25年度から順次改修

問

町道の橋の耐久年数が心配です。改修計画は。 査し、平成23年度に町橋梁長寿命化修繕計画を策定しましたので、その計画に基づき、平成25年度から緊急性の高い橋から順次改修を実施していきます。

町長

町内の橋の総数は428橋、平成20年度から平成21年度にかけて調

「日本ミツバチの里」にする考えは

町長＝まちづくりの一環として実態を把握

問

日本ミツバチを観光資源として活用する考えは。 議論は進んでいない状況ですが、地域活性化を促す貴重な提言であるため、今後ミツバチの飼育農家数、流通経路の実態を把握し、まちづくりの一環として課題等を検討していきます。

町長

町内でも日本ミツバチの巣箱設置が多くなり、直売所ではちみつ販売が行なわれています。現時点ではミツバチでのまちおこしの

町政を問う 一般質問



びわのかげ運動公園に隣接する火災被害の建物対応は

町長＝個人所有物のため解体は困難

問

「びわのかげ運動公園」に隣接する建物火災が発生し、6年になります

が、同運動公園は町内のみならず、町外からも大勢の方が集まります。火災跡がそのまま、子どもにも悪影響を与えていると思います。所有者との交渉の推移、および町の考えは。

町長

平成20年に所有者の知人を介して、飲食店として再利用するとの回答があり、それ以降の交渉はしていません。防犯はもとより、景観上も好ましくないと考えています。

問

住民は取り壊して元の形状にしていますが、見通しは。

町長

建物の所有は個人であり、町では解体できません。

今後は、所有者の理解を求め、対応を検討していきます。

河川内の立木管理は

町長＝南会津建設事務所対応

問

水無川など町内の河川立木が河川の水流を阻害しています。県への要望など町の対応は。

町長

県の事業調整会議等で

立木伐採や、土砂・流木の撤去を要望しています。また、水無川の立木伐採も南会津建設事務所に対応を検討することです。

通学路の安全確認は

教育長＝警察署・関係機関と共に実施

問

町内通学路の危険個所の安全点検は行なっていますか。その点検結果は。

教育長

5月16日に田島小・田

島中学校の通学路の安全点検を警察署ほか関係機関で危険個所の点検を実施しました。檜沢、荒海等その他の学区区も同じく緊急に改善すべきところはない状況です。

問

危険個所が見された場合、どのような対応をしますか。

教育長

警察署の取りまとの

結果や各関係機関からの意見・要望書の提出があり次第、内容を十



交通ルールを守って通学する子どもたち

分検討し、対策を講じ計画的に危険個所です。是正に努めていきます。

議会報告会

—住民と共に歩む議会であるために—

3月議会の結果を3会場で報告

関本地区

日時	4月14日(土) 午後7時00分から午後9時00分
会場	関本公会堂
参加者	区長ほか12名
出席議員	高野精一・渡部 優・室井 実・室井嘉吉・ 渡部忠雄・湯田秀春
質疑事項	①町内に建設予定の特別養護老人ホームは公設か。 ②森のエネルギー創出事業とは。
要望・意見	①1人暮らし世帯を地域全体で見守るため、区長へ個人情報を提供してほしい。

Q. 議会報告会の感想を聞かせてください。

A. 議会の動きを聞くことができ大変良かったです。最低年1回は議会報告会を要望したいと思います。多くの方に議会に関心を持ってほしいと思います。

関本区長
渡部福雄 さん



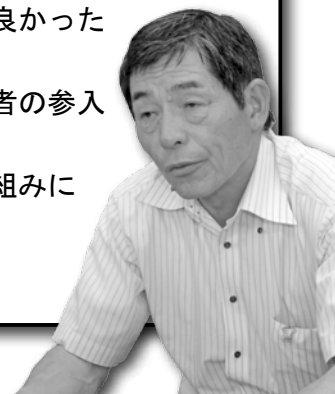
川島地区

日時	4月15日(日) 午前11時00分から午後1時00分
会場	川島交流センター
参加者	区長ほか81名
出席議員	五十嵐 司・大桃英樹・阿久津梅夫・長谷川耕一・ 星登志一・菅家幸弘
質疑事項	①介護保険料の改正理由は。
要望・意見	①雇用の場を創出するため、野菜加工所をつくってほしい。 ②小水力発電を早期に取り組んでほしい。

Q. 議会報告会を聞いてみてどうでしたか。

A. 行政の新規事業などを聞くことができ良かったです。農業への若者の参入が課題です。議会の取り組みに期待します。

川島区長
星 泰蔵 さん



針生地区

日時	5月28日(月) 午後7時00分から午後8時30分
会場	針生青少年旅行村中央管理棟
参加者	区長ほか13名
出席議員	山内 政・湯田良一・芳賀沼順一・湯田 哲・ 楠 正次・大竹幸一
質疑事項	①町の財政力指数が落ちているがその理由は。
要望・意見	①町で入山禁止条例を制定できないか。 ②鳴沼への道路を整備してほしい。

Q. 議会報告会の感想を聞かせてください。

A. この報告会で各地域の議員の顔を知ることができて良かったです。地区の要望も重要度の高いものを伝えることができました。一日も早い実現を期待します。

針生区長
星 喜弥 さん



※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。

第2回 臨時会

平成24年5月18日

平成25年4月1日 南会津中学校が誕生します

町から平成25年4月1日に伊南中学校・南郷中学校を統合し、新しい学校名を「南会津中学校」とする議案が提出され、慎重審議の結果、全会一致で可決しました。

議案質疑

学校名決定までの経過は

渡部優議員

学校名を南会津中学校と決定した経過は。

学校教育課長

統合委員会で統合学校名を一般募集しました。応募総数は214件あり、審議した結果、南会津中学校が統合中学校名にふさわしいと判断し、教育委員会に進達がありました。

教育委員会では、統合委員会の学校候補名を最大限に尊重することが地域住民に理解されるとの結論に達しました。

参考

南会津中学校

所在 鶴巢字平林573(現在の南郷中学校)
生徒数 92人(平成25年度見込)

その他の議案質疑

入札を辞退した理由は

大竹幸一議員

学校大規模改造工事の請負契約で指名競争入札をしていますが入札結果を見ると辞退する業者が多く目立ちます。辞退の理由を把握していますか。

総務課長

業者で工事を受注する場合、工事現場に管理技術者の配置が必要ですが、災害復旧工事等で受注件数が多く管理技術者の配置が困難なため辞退したと聞いています。

南会津地方町村議会議員大会で提案

―本町からの要望事項4件を議決―

7月5日、檜枝岐村の東雲館で、南会津地方町村議会議長会主催の議員大会が開催されました。この大会は、南会津郡内の4町村の議員が一堂に会して、南会津地方の諸問題を

共同で解決していくことを目的に毎年開催され、今年は63回目となります。本町議会からは、湯田哲議員と湯田良一議員が2件ずつ提案理由を説明し、要望事項は

全て議決されました。議決された要望事項は、今後、国・県への要望活動が行なわれ、実現に向けた運動が展開されます。



湯田 哲 議員

湯田良一 議員

要望事項

- ① 国道352号(穴原～耻風間)の改良促進について
- ② 原子力災害による風評被害賠償について
- ③ 地方財源の充実と確保について
- ④ へき地医療の充実と県立南会津病院の整備拡充について

思い出アルバム

福島県消防操法南会津地方大会

地域を守る男たちの勇姿



熱い夏の日差しが照りつける7月8日(日)、平成24年度福島県消防操法南会津地方大会がいくらスキー場で行なわれました。本町からは、ポンプ車操法の部に田島支団第1分団第2部(新町・西町・上町・後原・上中町・大町)、小型ポンプの部に田島支団第1分団第7部(水無)が代表で出場し、惜しくも優勝を逃したものの、町代表として堂々の演技を披露しました。

この大会に向け、努力を重ねてきた選手をはじめ消防団関係者の皆さん、本当にお疲れさまでした。そして、日々、町の安全のために尽力されていることに心から感謝します。

出場選手

ポンプ車操法の部

指揮者	山口浩史 さん
1番員	猪股一史 さん
2番員	渡部元紀 さん
3番員	宮崎拓郎 さん
4番員	湊田照孝 さん
補充員	星 正昭 さん

小型ポンプの部

指揮者	室井泰行 さん
1番員	室井 崇 さん
2番員	星 湧太 さん
3番員	室井寛司 さん
補充員	川井建史 さん

議会広報委員会

委員長	湯田 哲
副委員長	大桃英樹
委員	湯田良一
委員	室井嘉吉
委員	楠 正次
委員	菅家幸弘

議会傍聴におこしく下さい

平成24年9月定例会

9月21日(金)から予定

議会傍聴の手続きは簡単です。本庁3階傍聴席入り口で住所と名前を書くだけです。傍聴席で議案も閲覧できます。

発行 南会津町議会 : 〒967-8501 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531-1
編集 議会広報委員会 : TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-6102
E-mail:gikai@town.minamiaizu.lg.jp

